

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
163	B-05024838	男性	12歳	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の2回目服用から約30分後に、就寝中より突然起き出して父親に抱きついたり、母妹に意味不明な言語を発する等の異常行動が発現し、約30分間持続した。その後、異常行動から回復した。	異常-138	
164	B-05025582	男性	12歳	150mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン シャゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(39℃)。2回目服用後、異常行動(部屋の中をぐるぐる回る、2階から飛び降りようとする等)発現。父親が取り押さえ約40分後異常行動(わめいたり暴れたり)軽快し眠った(39℃以上)。翌朝解熱(36.7℃)し意識は正常で異常はなかった。母親の話では1年ほど前にも発熱した際に今回のようにひどくはなかったがうなされたことがあった。	異常-139	
165	B-06007798	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	死亡 損傷	死亡 死亡	発熱があったため、家族に処方されていたリン酸オセルタミビルを75 mg/日服用。その後、熱が下がらないことから、左記併用薬を服用。同日夕方、自宅のある高層住宅の駐車場で心肺停止状態で発見され、病院に搬送されたが死亡。 【解剖所見あり】	異常-140 死亡-12	
166	B-06012472	女性	12歳	75 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン カルボシステイン	意識変容 状態	回復	B型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3時間弱で意識障害(窓の方へ駆け出し、叫ぶ)が発現し、入院することになった。リン酸オセルタミビルの服用は中止し、塩酸プロカテロールの服用を開始したが、その日の夜に意識障害が見られた。リン酸オセルタミビルの投与開始から6日目にインフルエンザ症状が軽快し、意識障害も回復した。	異常-141	
167	B-06024212	男性	12歳	75 mg		意識変容 状態	回復	発熱(40.5℃)、咳、鼻症状、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用当日、意識障害(名前、自分の年が言えず)発現。投与翌日、意識障害回復。	異常-142	
168	B-06024534	男性	12歳	150 mg	臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビルを投与。本剤服用開始当日夜から翌日朝にかけて、異常行動(突然裸になり踊るなど)あり。発熱持続。2日目午前服用後、夕方、母親が目を離れた間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。 TAMIFLU キットにてインフルエンザA型と診断。家族への説明後、リン酸オセルタミビル等処方。服用1日目夕方、本剤2回目服用後、夜から朝にかけて、突然裸になり、踊る等の行動あり。服用2日目夕方、家族が目を離れた間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。入院。入院時、記憶はなし。	異常-143	2007/10/1以降 追加報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
169	B-06024909	男性	12歳	150 mg	プラノプロフェン 塩酸アンプロキシール	異常行動	回復	発熱(37.8℃)、咳、倦怠感あり、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。投与翌日、外を走っているところを見つけれ、家に連れ戻されたが、2階へ駆け上がり窓を開けて飛び降りた。	異常-144	
170	B-06025101	男性	12歳	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	不明	本剤服薬2時間後に幻覚をみて、異常行動(裸足で外に飛び出した。)出現。帰宅後、自ら電話し、救急車で他院に搬送。点滴により落ち着き帰宅。夜になると怯えてしまう。昼間は問題なし。その後も就寝後1時間くらいでおきだして、錯乱状態となる。5日後、解熱。7日後、通学し始める。就寝後の錯乱状態が続くため、他院受診。「夜驚症」と診断される。	異常-145	
171	B-06025576	女性	12歳	150mg		異常行動	回復	本剤処方時の昼食時に服用。その夜、異常行動発現(突然泣き始め、素足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ)。約10分で落ち着き、両親がおさえる。体温(37.5℃)翌朝から、本剤服用再開、その後異常行動なし。本剤投2日後、外来受診し、異常行動回復となる。	異常-146	
172	B-06026630	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザBと診断され、昼と夜にリン酸オセルタミビル内服。突然2階にかけ上がった。母が追いかけてつかまえて1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、母も追いかけたが間に合わず、ベランダへ出、飛び降りた。本人は飛びおりた時の記憶はない。	異常-147	
173	B-07001302	女性	12歳	75 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣 浮動性めまい 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤投与1回目の就寝2時間後、徘徊し、2階の階段から転落。痙攣が10分ほど持続。事象発現から30分後、意識が戻り、その後は問題なし。	異常-148	
174	B-07001361	女性	12歳	150mg		異常行動	軽快	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、暴れる(約3分間1回きり)。家族がおさえつけて制止した。服用開始5日目、服用終了。	異常-149	
175	B-07001523	男性	12歳	75 mg	塩酸アンプロキシール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸ホミノペン アセトアミノフェン	意識変容 状態	回復	数日前より症状あり、一般用の感冒剤を服用。翌日、発疹あり受診。インフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用1時間後、両上肢拳上、訳のわからないことを言いながら、こたつの周囲を10回ほど回った。その後紙製のふたをにぎりしめていた。このため救急車で来院。怒りっぽく荒々しい言動であった。CT異常なし。眠気あり。その翌日午後、意識清明となる。	異常-150	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
176	B-07002664	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1) 塩化リゾチーム d-マレイン酸クロルフェニラミン	錯乱状態 強迫性障害	回復 軽快	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。昼前に本剤服用。夕方、解熱。同日夕方、2回目服用後に就寝。就寝1時間後、起きた時に錯乱状態になり、家族が押さえつける。症状は約30分間続き、回復。投与中止。 投与中止1日後、朝、37.3℃。起床後すぐに「手洗い」を始め、その後もずっと手を洗い続け、1日に30回以上「手洗い」をするようになるといった強迫神経症、うつ病が発現。インフルエンザは軽快。 投与中止4日後、1日に60回以上「手洗い」し、周りの物に触れようとしない。 メンタルクリニックにて洗浄強迫障害と診断される。投薬されるも症状改善なく、1日に7~8回入浴する状態となる。食欲も著しく低下。 投与中止21日後、ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望さらに強くなる。 投与中止55日後、夜、突然顔面より上半分に筋肉の強張出現。救急受診し、筋弛緩剤投与され改善。その後も自宅で療養中。	異常-151	2007/10/1以降追加報告
177	B-07011932	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	夜、発熱にて救急受診。インフルエンザ確定診断にて陰性で、抗生剤と解熱剤を処方。翌朝、受診。受診時38.3℃で救急にて処方されていた薬は終了。インフルエンザ確定診断実施したところ、B型と判明。発熱以外特に訴えなく所見もないようなので、リン酸オセルタミビル等を処方。服用1日目、深夜、寝ていたが突然起きて寝室から飛び出し、廊下を走った。裸足で飛ぶように走った。服用開始から3日目、朝、本人は自分の行動を全く憶えていなかった。平熱に戻り元気が良いとのことで、本剤服用中止を指示。	異常-152	
178	B-07013228	男性	12歳	150mg	麻黄湯	異常行動	回復	前日より39.1℃の発熱あり。インフルエンザA型陽性との診断受け、リン酸オセルタミビル等を処方。本剤を服用し、就寝。夜、気持ちが悪いとトイレへ行った。トイレから出てきてうわ言で「屋上が、屋上が…」と言って玄関から出ようとしていたので両親2人がかりでおさえつけた。その後本剤中止。	異常-153	
179	B-07013229	男性	12歳	150 mg	フマル酸クレマシテン 臭化水素酸デキストロトルファン カルボキシステイン トラネキサム酸	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型発症のため、リン酸オセルタミビルを朝、夕2回服用。深夜、急に起き上がって服を脱ぎ、部屋の中を歩き、お茶を飲んだ。ベランダに出て乗り越えようとしたのを母と祖母で止めて室内へ連れ戻した。体温は37.9℃。40分くらいで再び眠りについた。その約3時間後、寝ている状態でベッドでバタバタして話をしていた。目はグルグル回って変だった。40分くらい続いた。	異常-154	
180	B-07013305	男性	12歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動（走り回る、顔つきがおかしい等）が発現。その後、異常行動は回復。	異常-155	
181	B-07013374	女性	12歳	75 mg		異常行動 幻覚 妄想	回復 不明 不明	夕方、B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。何も持っていないのに1つ持っていると言い、外に出ようとするので、父親が側につき、外に出ようとするのを制止した。未明に落ちつく。	異常-156	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
182	B-07013380	男性	12歳	150 mg	鎮咳配合剤(1) プロピオン酸フルチカゾン ベシル酸ペボタステン 小青竜湯 麻杏甘石湯	落ち着きのなさ	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後、突然2階階段を走り降りる。夕方、本剤服用後、やはり不穏状態となり、家族が制止する。	異常-157	
183	B-07013382	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン 乳酸リンゲル液(マルトース加)	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。昼、夕、本剤服用。2回目服用4時間後、40.2℃の発熱、脱水に対して、アセトアミノフェン服用。輸液点滴静注開始。その後、睡眠。点滴終了し、抜針した所、走り出した。服用2日目、異常行動回復。	異常-158	
184	B-07013388	男性	12歳	75 mg	クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	39℃の発熱あり、インフルエンザB型の判定のもと、夕方、リン酸オセルタミビル服用。未明、もうろう状態発現。急に起きて、ベッドの上で飛びはねて2階から下に階段を駆け降りて、下で尿、便を失禁した。	異常-159	
185	B-07015893	男性	12歳	75 mg		異常行動 異常行動	回復 回復	朝、発熱37℃台。夜、発熱39.2℃。夜間診療所にてインフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤初回服用1～2時間後、閉まっていた自室2階の窓とシャッターを開けて、飛び降りた。幸いテラスの屋根があり外傷認めず。飛び降りた際には支離滅裂な話をしていた。親が不安になり、一階の部屋で一緒に寝かせた。翌朝、部屋から一人で出て行こうとした。「トイレ？」と尋ねると、意味不明の返答。「こちらで寝なさい」と言うと、横になり眠った。体温38.2℃。午前、入院。服用開始4日目、本剤は継続したが、異常行動の再発はなく、元気に退院。	参考 症例(異常)として公表	2007/10/1以降 新規報告
186	B-03000982	男性	13歳	150mg	クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン リン酸コデイン 酸化マグネシウム	異常行動	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビル及び他の併用薬服用開始。服用2日目の16時異常行動発現(突然2階から降りてくる、ウサギ跳びをする、異常な発言)、家族がなだめ就眠。20～21時異常行動(ベッドから飛び降りる、異常な発言あり)。3日目朝全て薬剤中止。異常行動発現5日後に回復。	異常-160	
187	B-03001038	女性	13歳	150mg	塩酸テアラミド リン酸ジヒドロコデイン 塩酸メチルエフェドリン マレイン酸クロルフェニラミン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夕方、75mgを服用。翌日、39℃の熱が下降すると同時に走り始め窓から飛び降りようとしたり、奇声を発した。翌日も同様の状態が続いた。2日後には症状はなくなり、投与開始5日目の朝の服用で本剤の投与終了。	異常-161	
188	B-03009902	男性	13歳	150mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン カンゾウ抽出物・メタケイ酸アルミン 酸マグネシウム ヒベンズ酸チベジン 塩化リゾチーム プロチン キョウニン水 単シロップ トローチ〔複合〕 ポピドンヨード アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。同日夜、75mgを服用し、その2時間半後、家の中を走り回ったり、意味不明の奇声など異常行動出現。40分後、受診したが、受診時の意識は正常、譫妄状態時の記憶なし。点滴し1時間ほどで帰宅。翌日もリン酸オセルタミビル150mg/日を服用(併用薬も継続)。異常所見なく、6日間服用し終了。	異常-162	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
189	B-05001832	男性	13歳	150mg		精神障害	回復	インフルエンザ診断を行った結果、A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビルを投与。16時頃本剤1回目服用。23時頃2回目服用。その3時間半過ぎに自宅の2階から飛び降りた。その際体温は38℃。翌日朝、受診。	異常-163	
190	B-06022963	男性	13歳	150 mg	アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	B型インフルエンザの確定診断により、リン酸オセルタミビルを午前中帰宅後と夕食後に内服後、夜間睡眠中に、自分の身に家人より危害を加えられると思ひ込み、家を飛び出し知人宅を廻る。7時間後、幻覚、異常行動回復。	異常-164	
191	B-08025315	男性	13歳	75 mg	プロピオン酸フルチカゾン 塩酸プロカテロール	異常行動	軽快	発熱を伴うインフルエンザB型で本剤、カロナールを処方。その夜、本剤服用後就寝し、夜中に異常言動発現叫びながらベランダに向かって歩き出す。再度受診し、服用を中止。その後、異常行動なし。	異常-165	
192	B-06026420	男性	13歳	150 mg		異常行動	回復	1回目服用約2.5時間後、異常な発言（「大きい石がのっている」）あり。2回目服用4時間後、起きてきて数回叫び、後退りし、手を取るがテーブルの上に乗り、その後、走り回り、母親が、押さえ込む。体温を測ろうとするが、体が硬直し、脇が占められない状態であった。また室内犬をかけた為、犬をゲージに入れるが、朝起きてなぜ犬が、ゲージの中に居るのか判らない状態であった。	異常-166	
193	B-07000063	男性	13歳	150 mg		異常行動	不明	ワクチン接種あり。インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg、1日2回処方。2階の窓から飛び下りようとしたが、家族が止めた為、事故にはならなかった。異常行動があったため、当院にて診療。治療後も目が覚めると歩きまわる様になった。	異常-167	
194	B-07000066	男性	13歳	75 mg	クラリスロマイシン ブランルカスト水和物 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	精神症状	回復	インフルエンザ抗原A型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。38～39℃台の発熱が続いていた。夕方、本剤服用。夕食後自室で寝ていたところ、急に起き上がり、意味不明の発言あり、窓から外へ出ようとするため、母親が馬乗りになっておさえた。5～10分程で興奮状態がさめた。その後、同様の症状は出なかった。発熱による症状かと思いつくには連絡しなかった。本剤服用中止。	異常-168	
195	B-07000077	男性	13歳	150 mg	フェンジソ酸クロベラスチン 塩酸アンプロキシール イブプロフェン	異常行動	回復	B型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用後、突然起きて外出する。家族が気づいて追いかけて連れ戻す。受け答えははっきりせず、自分のした行動も理解していなかった。連れ戻した後、すぐに就寝。本剤服用中止。その後異常行動はなく、意識もすぐ正常に戻った。	異常-169	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
196	B-07000130	男性	13歳	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム ヒベンズ酸チペピジン 塩酸セチリジン	異常行動	回復	体温：39.3℃。インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。覚醒後「暑い」と言い「ベランダに行き、涼みたい」とベランダに向かって飛びだしそうになり家族が制止。10分後に異常行動回復。夜、臥床中、「ゲームの中のように誰かが追いかけてくるので逃げなくては」と言っつてふとんをかぶるといった幻視の疑いが発現。10分後に幻視回復。以降、本剤を続けて服用したが、特に異常行動は見られなかった。	異常-170	
197	B-07000272	男性	13歳	60 mg	塩酸エブラジノン カルボシステイン 塩酸シプロヘパタジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用し、就寝。服用2時間半後、急に体をおこし、2階の窓から飛び降りようとしたため、家人がとりおさえ、ことなきを得た。すぐにおさまり、1階へ移動して就寝した。服用4時間半後、再び急に起き上がり、今度は1階の窓から飛び出した。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で我にかえり、ことなきを得た。服用中止後、異常行動なし。軽快。	異常-171	
198	B-07000412	男性	13歳	138mg	塩酸テアラミド	落ち着きのなさ	回復	インフルエンザB型の治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、午前中に2階から転落。頭蓋内血腫と診断。入院治療し、約1週間で退院。異常行動回復。 (平成18年7月の事例)	異常-172	
199	B-07001355	男性	13歳	150 mg	ブランプロフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン ドンペリドン フマル酸クレマスチン	幻覚 異常行動 譫妄	回復 回復 回復	数日前から咽頭痛あり、朝から38.3℃の発熱を訴え受診。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤2回服用4時間後に就寝。翌日未明、両親の寝室にばたばたと入ってきて、「死ぬとこだった」とおびえた表情をしたので、両親は寝かせつけた。その朝、患児を観察すると、擦り傷、両下肢の付着物、両足底の汚れあり。事情をきくと、何かに追いかられるような怖い夢を見ていたような恐ろしい思いをした後、自分が窓枠にぶら下がり、両足をコンクリート壁の突き出し部分に乗せているのに気づき、よじ登って部屋に入ったとのこと。部屋を確認すると、窓が開いている、足跡がついている等の形跡あり。	異常-173	
200	B-07001668	男性	13歳	150 mg	アセトアミノフェン リン酸ジメモルファン	幻覚 異常行動	回復 回復	発熱39.1℃。検査にてインフルエンザB型陽性のため、リン酸オセルタミビル5日分処方。同日昼、夜と本剤2回服用。 翌日未明、就寝していた患者が急に起きあがり、部屋を駆け回る、たんすを開ける、友達がいると言い、友達の名を大声で叫ぶなどの行動をとる。家族が気づきおさえる。数分で落ち着いた。39.9℃と高熱。同日朝、意識清明であるが、異常行動時の記憶はなし。本剤服用中止。その後、異常なし。	異常-174	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
201	B-07002055	男性	13歳	不明		異常行動	回復	シーズン前にインフルエンザ予防接種2回施行。 気分が悪いと訴えあり。体温38.4℃。インフルエンザ検査陰性であったが、インフルエンザの可能性高いからと、リン酸オセルタミビル処方。服用3～4時間後の早期、「友達がベランダから落ちた」と発言。問いかけに答えられず。そのまま睡眠した。同日夕方、ウーと声が聞こえたので、急いで行ったら、自分の頭を殴っていた。その後「人を殺した」と発言。本剤中止。暫くして意識清明となる。 翌日未明、気分が悪いと訴え、リビングを駆けずり回り、「死にたい」と連呼。救急車要請。救急隊到着時、ぼーっとしている感じではあったが、名前を言えた。入院後、補液。その間異常行動なし。意識清明。顔には自分でひっかいた、ひっかき傷目立つ。唇もかんでいるようで、出血あり。本剤内服せず様子見とした。翌日、解熱し、異常行動もみられず退院。2週間の間隔をあけて測定したが、インフルエンザに対する抗体価の上昇なし。	異常-175	
202	B-07002997	女性	13歳	150mg	ドンペリドン 酪酸菌製剤 d-マレイン酸クロルフェニラミン	大発作痙攣	回復	3年前、A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビルの服用歴あり。副作用なし。 38.5℃。B型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後、本剤服用。この時体温40℃。昼、異常なし。夜、2階から1階に下りようとして「こわい、こわい」とさけび出し、両手を広げバンバン壁をたたき、その後、けいれんを1分間起こした。5分後、会話ができるようになったが、「こわい、こわい」と言っていた。けいれん時：35.5℃と解熱。本剤、夜は睡眠中であったため、服用せず。 投与開始2日目、朝、本剤服用中止するも、夜は服用。 投与開始3日目、朝、夕本剤服用。	異常-176	
203	B-07004039	男性	13歳	150 mg	フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	譫妄	回復	B型インフルエンザ発症し、リン酸オセルタミビル服用開始。 投与開始2日目、朝、2階で寝ていたが、急に起きてきて階段(屋内)の途中から飛び降り、部屋の障子を倒して外へ出て行こうとした。家族が制止し、30分後、我にかえた。39℃台の発熱あり。患者によると、悪い夢を見て、何かに追いかけていたような気がしたそうであるが、階段を飛び降りたり障子を倒したりしたこと等は何も覚えていなかった。	異常-177	
204	B-07013251	不明	13歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用の4時間半後、裸になって外に飛び出す。本剤中止。服用2日目、異常行動は回復。	異常-178	
205	B-07013256	男性	13歳	42mg	アセトアミノフェン アモキシシリン ツロプテロール	幻覚	回復	A型インフルエンザ(体温は39℃)に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後に、幻覚(異常行動)が発現。 服用2日目、幻覚(異常行動)は回復。	異常-179	
206	B-07021878	男性	13歳	150mg	鎮咳配合剤(1) 柴胡桂枝湯	異常行動	回復	夕方、リン酸オセルタミビルを服用。就寝。夜中突然泣き出して、布団の中ででんぐり返しをし、部屋の中を走り出した。押さえて、少しして落ち着いた。再び眠り、症状は消えた。本人も一部は覚えているとのこと。服用2日目、本剤服用したが、異常行動は起こらず。		2007/10/1以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
207	B-05002487	男性	14歳	75mg		意識変容 状態	死亡	発熱、咽頭痛、関節痛にて受診。A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤服用2時間後、9階自宅より転落。出血性ショックにより死亡。主治医によると転落したときの状況は誰も見ていないため意識障害、精神障害があったかは不明。	異常-180 死亡-13	
208	B-05017753	女性	14歳	150mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン 非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリウム・炭酸水素ナトリウム 塩化デカリニウム	譫妄(せん妄)	回復	咳、咽頭痛、関節痛、発熱あり解熱剤使用しても改善されず受診。インフルエンザ予防目的にて本剤投与。本剤投与2日後、朝より被害妄想、異常行動、せん妄発現。落ち着きがなく、家中うろろしていた。本剤投与中止3日後、精神的に落ち着き、平常の状態に戻る。	異常-181	
209	B-05022381	男性	14歳	75mg	ドンペリドン シプロフェリン・ジヒドロコデイン配合剤 アルジオキサ 塩酸エピナスチン レボフロキサシン 維持液(3) メクロプラミド	錯乱状態 落ち着きのなさ	回復	発熱(38℃)、咳、鼻症状にて本剤処方。服用後、錯乱、不穏発現(異常な発言とともに、窓に向かって走り出す(マンションの9階))。ガラスは、鍵をかけており事故にはならなかったが、両親でおさえなければならぬほどの力で暴れた。服用中止し、錯乱、不穏回復。	異常-182	
210	B-05024748	男性	14歳	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを夕方服用した。服用開始した日の夜に2階より飛び降りる異常行動が発現。飛び降りから約2時間半後に病院へ搬送された時には異常行動は回復していた。右踵骨骨折、左第5指中足骨骨折、両足部外傷性皮膚欠損。飛び降りから約4時間後に頭部CTを実施し、明らかな浮腫や脳症を疑う所見を認めなかった。	異常-183	
211	B-05024963	男性	14歳	75mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン	意識変容 状態 異常行動 悪心	回復 回復	A型インフルエンザ発症のため夕方リン酸オセルタミビル服用開始(39℃)。服用後意識障害(少し変なことを言う)発現するもすぐに治まった。嘔気もあり。翌朝本剤服用後、約4時間後に異常行動(服を脱いで家の外へ飛び出す)発現し行動障害(いつもできないことができない等)が少し続いた。患者が落ち着いた後、総合病院を受診し血液検査と脳MRI撮影実施。3日後、落ち着いており、12日後、検査結果に異常なし、精神神経症状もなし。	異常-184	
212	B-05025213	女性	14歳	150mg	クラリスロマイシン 塩酸チアラミド 非ピリン系感冒剤 リン酸ペンプロペリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱が見られた3日後よりA型インフルエンザのためリン酸オセルタミビル服用開始(39.5℃)。初回服用1.5時間後にトイレでいきんだ後30秒ほど白目をむいた感じになった。2回目服用2.5時間後に異常行動(突然起きあがり意味不明な発言)発現のため救急受診。受診時の受け答えは正常。翌日インフルエンザ軽快し精神状態等も正常。	異常-185	
213	B-05025476	男性	14歳	150mg		痙攣 意識変容 状態 異常行動	未回復 未回復 未回復	インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたため本剤投与開始。異常行動、意識障害、痙攣発現。(担当医の協力が得られず詳細は不明)	異常-186	